

平成23年度 高校生のための放送講座 グループ別練習 講師とテーマ

- * 全国大会出場者は加賀先生のグループに入ります。
- * 関東大会出場者は板倉先生のグループに入ります。
- * 原稿2部(自分の分と講師の分)を持参して下さい。ただし、樋坂先生のグループは受講者分の原稿を用意すること
- * 各クラス5, 6名の予定

講座番号	講師	テーマ	内容・用意するものなど	レベル	分類
1	濱崎俊文 先生 (東海大浦安)	地の文章をきちんと読む	作品世界の内容を理解し、組み立てて読みます。Nコン課題作品の一部を皆で練習します。特に地の文の読み方を勉強します。自分の原稿も7部くらい用意して来てください。	経験者	朗読
2	樋坂裕子 先生 (柏の葉)	SVOで内容理解	文の構造を理解し、言葉を入れ替えて読んでみよう。きっと内容の伝わり型が変わりますよ。内容が伝わらないと言われる人お待ちしています。自分の原稿(高文連の原稿よりは、次回Nコンの課題作品がbetter)を10部用意してください。	不問	朗読
3	和泉洋一 先生 (成田)	声に出して、想いを伝えよう。	芥川龍之介をはじめとする文豪が書いた書簡を使い、朗読における表現の仕方を一緒に考えてみたいと思います。テキストは準備しますので、筆記用具と時計を準備して下さい。	不問	朗読
4	米澤正弘 先生 (県立船橋)	もう少しで県大会 もう少しで関東大会	「あと一步で県大会」、「あと一步で関東大会」で止まってしまう人のためのアナウンス講座です。もう一步を乗り越える練習をしましょう。	経験者向き	アナウンス
5	吉野文代 先生 (長生)	朗読の基礎	本を読む楽しさを、声に出して伝える楽しさにつなげましょう。朗読を始める際の準備や基本を学びます。好きな本の中から好きなシーンを1カ所選び(2分の長さ)、そのコピーを7部用意してください。	初心者	朗読
6	石井 淳 先生 (検見川)	語りかけるアナウンス (お昼の放送編)	「読む」のではなく「語りかける」アナウンスを考えます。節(ふし)や波を排除して自然に話しかけるアナウンスについて学びましょう。今回はお昼の放送に焦点をあてます。各校のお昼の放送の原稿を持ち寄ってください。事前に原稿を届けていただけると助かります。これからお昼の放送を始めようという人も大歓迎です。	不問	アナウンス
9	松垣優美 先生 (専大松戸)	アナウンス原稿の書き方	アナウンス原稿は、ただ思いついたことを書くだけではいい原稿とは言えません。柱のたて方、表現の仕方など「コツ」が必要です。自分の原稿をより良いものに仕上げるために、講座で一緒に原稿書きの練習をしていきます。筆記用具、自分で書いた原稿があればそれを持参してください。なければこちらでテーマを用意します。	不問	アナウンス
7	尾形保夫 先生 (一宮商業)	基本の基本	アナウンス、朗読、どちらにするか？ アナウンスの題材の見つけ方は？どんなことを心がけたらいいの？初めて取り組む人に。	初心者	混合
8	大久保京子 (千葉北)	Let's train your voice	呼吸法・腹筋・顔の筋肉・舌・口の開きを意識したボイストレーニング、発声をよくするための発音練習、短文の原稿読み、食事法のアドバイスなど。必要以上に体を動かす癖のある人、声をもっとよくしたい人向き。	不問	混合
10	上記以外の先生	私の良いところ、練習すべきところはどこ？	私の良いところは？これからどんな練習をしていけばいいの？自分では気づかないところがあるかもしれません。みんなの耳でさがしましょう。	初心者	混合